

※※〔使用上の注意〕

1. 慎重投与（次の患者には慎重に投与すること）
肝障害のある患者〔肝障害を悪化させるおそれがある。〕

2. 相互作用

- (1)併用禁忌（併用しないこと）

薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
経口鉄剤	併用により相互に作用が减弱することがあるので、併用しない。	鉄と結合しタンニン酸鉄となり、タンニン酸による収れん作用が减弱することが考えられる。

- (2)併用注意（併用に注意すること）

薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
塩酸ロペラミド	塩酸ロペラミドの効果が减弱するおそれがあるので、投与間隔をあけるなど注意する。	本剤により塩酸ロペラミドが吸着されることが考えられる。

3. 副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

※※(1)重大な副作用

ショック、アナフィラキシー：ショック、アナフィラキシー（頻度不明）を起こすことがあるので、観察を十分に行い、呼吸困難、蕁麻疹、顔面浮腫等の過敏症状あるいは気管支喘息発作等の症状が発現した場合には投与を中止し、適切な処置を行うこと。

- (2)その他の副作用

	頻度不明
長期・大量投与 ^{注)}	肝障害
消化器	便秘、食欲不振

注) 長期又は大量投与を避けること。

4. 高齢者への投与

一般に高齢者では生理機能が低下しているので減量するなど注意すること。

〔取扱い上の注意〕

〈配合変化〉アルカリにより分解する。

〈その他〉本剤は原料に天然品が含まれているので、製品の色調やにおいが一定しないことがある。

局所収れん剤

日本薬局方

タンニン酸アルブミン

タンニン酸アルブミン「ケンエー」

Albumin Tannate

500g

局所収れん剤

日本薬局方

タンニン酸アルブミン

タンニン酸アルブミン「ケンエー」

Albumin Tannate

500g

貯法：気密容器
遮光して室温保存
注意：「取扱い上の注意」
の項参照

※※ 2015年5月改訂（第3版）

※ 2001年2月改訂

日本標準商品分類番号 872312

承認番号	薬価収載	販売開始	再評価結果
(61AM)2168		1986年3月	1981年8月

※※〔禁忌（次の患者には投与しないこと）〕

(1)出血性大腸炎の患者〔腸管出血性大腸菌（O157等）や赤痢菌等の重篤な細菌性下痢患者では、症状の悪化、治療期間の延長をきたすおそれがある。〕

※※(2)牛乳アレルギーのある患者〔ショック又はアナフィラキシーを起こすことがある。〕

(3)本剤に対し過敏症の既往歴のある患者

〔原則禁忌（次の患者には投与しないことを原則とするが、特に必要とする場合には慎重に投与すること）〕
細菌性下痢患者〔治療期間の延長をきたすおそれがある。〕

※〔組成・性状〕

1g中 日局タンニン酸アルブミン 1g含有。

〔タンニン酸とたん白質との化合物である。〕

〔たん白質は乳製カゼインである。〕

淡褐色の粉末で、においはないが、又はわずかに特異なにおいがある。

〔効能・効果〕

下痢症

〔用法・用量〕

タンニン酸アルブミンとして、通常成人1日3～4gを3～4回に分割経口投与する。

なお、年齢、症状により適宜増減する。

製造番号

使用期限



箱



袋：PE

健栄製薬株式会社
大阪市中央区伏見町2丁目5番8号
電話番号 06(6231)5626

〈調剤包装単位用コード〉



(01)04987286805757

〈販売包装単位用コード〉



(01)14987286105755